

# 年 新 賀 謹

青木芳三郎 書記長	荒川清次郎	大島三郎	新橋東三郎	青木幸平	田中利三郎	坂本仁三郎	福田常兵衛	古泉次郎	古口勇次郎	清水清藏	福田恒吉	大野七兵衛	今井三吉	峯岸福三郎	松本宗太郎	渡邊長吉	久我彌平	奥津喜平	木村作次郎	代表者 田中千代吉	總務 宇都宮野善銀行
上野田勝次郎	野中勝次郎	藤源吉兵衛	齋藤源吉	篠崎長安	河合徳長	黒川金三郎	村山直富	福田富三郎	相田直富	横倉正三郎	石田常三郎	瀧澤喜平	多板喜平	塚島仁太郎	森龍太郎	特別議員	矢本五郎	矢野五郎	石手島仁太郎	行石手島仁太郎	特別議員
會頭	副會頭	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員	常議員

## 宇都宮商業會議所月報

第四百號

眞寫の影撮館弊  
賜を榮光の覽天 度再もく畏は

一北東はるせ全完の械器

目丁壹町旭市宮都宇

### 三光館

店眞寫  
番二二三話電  
吾源縣山主館

資本金 五百萬圓  
積立金 三百九十三萬圓  
諸預金 三千二百餘萬圓

宇都宮市大工町四十八番地



合名 安田銀行  
會社 宇都宮支店  
(電話百五十番)

本店所在地 日本橋區小舟町三丁目九番地  
支店出張所 無武拾壹ヶ所  
各地送金 無手數料

●諸貸附、割引、爲替、荷爲替、代金取立  
●總テ精々御便利ニ取扱可申候



株式 宇都宮銀行  
會社

足尾出張所 下野國足尾町 電話 八番  
材木町支店 宇都宮市材木町 電話 四五〇番  
足尾支店 下野國足尾町 電話 一二番

電話 (二三番) (六〇〇番)

資本金 貳百萬元



株式 下野銀行  
會社

東京支店 東京市日本橋區橫山町三丁目 電話 二〇番  
日光支店 下野國日光町 電話 二〇番  
下野國宇都宮市大工町

眞岡支店 下野國眞岡町 電話 三三〇番  
新石町支店 宇都宮市新石町 電話 三四〇番

行發回一月每	定價壹部金參錢	印刷人兼	荒川義興
約ハ一行金八錢	郵稅壹部金五厘	印刷所	宇都宮市通町一丁目
別廣告ハ三割増	廣告料廿二字詰	發行所	宇都宮商業會議所
六ヶ月以上特	一行金十錢	印刷所	宇都宮市一橋町七番地
		印刷所	宇都宮市三共社印刷所
		電話	三六五

### 米の需要供給問題

米は日本國民唯一の常食とするに至る重要な食料で其豊凶如何は直ちに我國の經濟社會を動かし金融の繁簡市況の振盪一に之に基いせざるなく實に米は我國家經濟の基礎を成すものであるとされれば之れが收穫高の趨勢如何は我國の將來に重大の關係あるや誠に明瞭である然るに實際の計數を見るに我が國の人口は明治三十三年末現在に四千四百八十一万五千九百八十八人なりしが十年後の明治四十二年末には五千二百九十九万七千人となり約五百五十万人の増加を示して居る假りに一人一日の米消費額を平均二合五勺とすれば此の増加人員が要する一年間の需要高は約五百萬石である此の五百萬石だけは十年間に年々産額が増加しなければならぬ譯である年に豊凶ありとはいひ多少なくとも其平均に於て補へて行かなければ立か行かれぬ譯である然るに近年我國に於ける米收穫の統計を見るに

自明治二十八年五ヶ年平均 三九、二六五、二七三  
 自明治三十三年五ヶ年平均 四四、六四三、三二八  
 自明治三十七年五ヶ年平均 四七、五七九、七四二  
 自明治三十八年五ヶ年平均 四七、五七九、七四二

此の如く明治三十三年より同四十二年迄十年間に於て後の五ヶ年平均は前の五ヶ年平均より二百九十三萬六千餘石の増加に過ぎずして前述の五百萬石に達させるに二百萬石の増加に過ぎずして五ヶ年中には明治四十二年に於ける五千二百四十三萬七千六百六十二石全四十一一年に於ける五千九百九十三萬三千八百九十三石といふが如き空前の豊作を算入せるものなれば將來を豫測するには多少其平均高に於ても割引すべきである即ち人口の増加に伴ひて増加を要する米收穫高は二百萬石以上であることは

正確に近きものと認め差支ないと思ふする今や我國の農業は集約の極に達せんとして居るに拘はらず入口の増口は殆んど底止する所を知らぬ實況でありとすれば之れが供給を豊富ならしむるの策を講ずるは最も緊急の大問題である

供給を豊富ならしむるは先づ國內に於て凡ての手段方法を盡し尙ほ足らざる處は之を外國の輸入に俟つより外はない國內に於て盡すべき途は第一耕地整理である、其他肥料を低廉にし、農具を改良し種子及耕作法を改善し、開墾の普及を圖り牛馬糞を奨励する等は皆産額増加の爲め必要な方法である

又北海道の如き未だ開墾の餘地甚だ多く殊に朝鮮臺灣の如きは古來米作地として今日に至りたるものなれば之を誘掖指導して其の産額を増加せしめ内地の不足を補はしむるも急務である

次に彼の内地朝鮮間の移出入税廢止の如きは一日も速に斷行せられたるものである又外國輸入米の關稅を輕減するも一方法である元來食料品に課税するといふことは百害ありて一利なく尤も拙劣なる經濟政策たることは經濟學者の一致する所である殊に國民の主食品たる米に課税するが如きは其弊害の最も甚だしきものである

### 正價流出の趨勢

我國の外國貿易は過去五年間の平均に於て輸出四億二千九百九十九萬圓輸入四億四千五百八十八萬圓であるか此外に國債元金並に國債市債債利拂支額が一億一千九百二十三萬圓あるから此の二口を差引くと結局我國が正貨を流出せしめしめて輸入し得る輸入品價格は三億九百九十五萬圓に過ぎない假りに國債元金の償還を別として單に國債市債の利

子のみとするも尙ほ三億四千八百四十二萬圓に過ぎないのである然るに我が貿易の内容を檢するに此の三億餘萬圓は國民の衣食其他の必要品の輸入額に辛うじて相當する次第であるからそれ以外の輸入品は悉く正貨を以て購ふの外はないのである

試みに昨四十三年度の輸入につき國民の生活の必要品たる食料品並に食料品生産の材料たる可き肥料の輸入額を擧ぐれば米、麥、豆粕、コンデンスミルク、卵、罐詰、智利、硝石、油粕等を初め其他の當該品を併せて七千五百八十五萬圓となり人口一人當り一圓三十八錢一厘となつてゐる次に衣服材料の輸入額（棉花棉糸羊毛等）は二億二千二百九十二萬九千四百七十餘圓に上つてゐるが此分には八千五百九十二萬八千二百二十餘圓の輸出額があるから之を差引けば一億四千二百四十七萬一千二百五十餘圓となり人口一人當り二圓七十六錢七厘となる其他皮革藥材、石油等必要品の輸入額が二千四百七十九萬三千七百二十餘圓で一人當り四十八錢二厘生産發達の一要素たる鐵道材料機械に關する輸入は二千三百六十一萬九千九百三十餘圓である以上を合算すれば其の總額は三億四千餘萬圓となつて是れだけに既に正貨を流出せしめしめて輸入し得る全體と相當な勘定で是れ以上は最早正貨なしには購買し得ざる譯である此他にも國民の必要品は一億餘圓もあるこれだけの正貨は見す／＼海外に流出することとなつてゐるのである

### 品性の試金石

ヘーコン曰く、人の品性は、其獨居の時に於て、其波瀾の時に於て、其未經驗の事柄に遭遇する時に於て、最も能く試験せらる、獨居の時は矯飾の必要なきが故に激越の時は、口頭のたしみを忘るゝが故に其本性を暴露すべく未經驗の事件に遭遇する時は、先例の據るべし無きが故に、智慧の程度は明かに測量せらるればなりと云ふ

### 最難の社會問題

勞働問題 産業が發達すれば當然の結果として生産の組織が次第に大規模に傾く大規模にすれば生産費が少なくてすむ兩者は因果の關係の下に次第々々に大規模になる即ち大工業主義が漸くに發達して來た今日に於ける我國の勞働者は大約七十五萬人乃至八十萬内外である向後十年を経れば恐らくは二百萬人乃至三百萬人の多きに達するだらう之れ等の人は云ふ迄もなく雇傭關係の下に給金を貰つて生活するものである従つて自衛上雇主に對して組織的行動をとる即ち資本の威力に對抗せんために勞働者は同盟を作り團體の勢力を以て之に當らんとする資本家は更に規模を擴大して所謂トラストを作り益々生産組織を増大すれば勞働者は世界を通じて相互に聯合し飽く迄も之に對抗し様とする最新世紀の最新且つ最難問題は此の二大勢力を如何にして調和すへきかにある

貧民問題 更に勞働問題の半面には貧民問題が潜んで居る最近我國に於ても物價が非常に騰貴し所謂貧民問題は二分切迫して來た濟生會も之れが爲めに出來た市營の無料職業案内所も之れが爲めに出來た是等の問題を一括して危険思想の發現の如く解する者もあるらしいが之れは甚たしい誤解である貧民問題は生活問題で生活問題は食料問題である誰が好んで危険思想を抱く四海の民は皆陛下の赤子である一人として物好に貧する者はない且つ一方から見れば貧する者盡く怠け者といふことは出來ない勤めて尙ほ食を得難きが文明の病弊である

失業問題 之れが一步進むと所謂失業問題を生ずる之れ等の貧者、失業者の發生には社會も相當の責任を持つ此の点から見て勞働者の保護詳しくいへば彼の養老保險、疾病保險、災害保險等

には抜くべからざる不拔の真理が潜んで居る我國の勞働問題 最も我國の勞働者を英獨諸國のそれに較べるときは種々の點に於て甚だしく相違する第一に我が勞働者は法律の觀念に乏しい飽く迄も自分の權利を主張する勇氣がない又さういふ經驗もない所謂家族制度の下に極く温和しく發達して來た。だから英獨の勞働者の如く直ちに資本家に肉迫する様な事はあるまい又一方資本家の方面でも多くは多少の情誼を解して居るから兩者の間には經濟關係以外に多少の温か味が存する従つて我國には彼の歐洲に見るが如き勞働問題は今にはかに發生しやうとも思はないが諸口は既に開けた産業社會の開發に伴ふて自然に紛糾し自然に複雑なる兩者の關係が入り亂れて來るに從つて兩者の情誼的關係は愈薄弱になり結局は純然たる經濟關係の下に立たないとも限らない故に政治家は勿論經世に志ある者は宜しく此際上述したる勞働問題、救貧問題即ち社會問題の解決に一層の努力と反省を加へ悠遠にして崇高なる大和民族の將來を圖らねばならぬ大願頂戴

### 來年度豫算公示

大藏省の調査公示したる所に依れば四十五年度の歳計は概略左に示すが如し但確定までには尙異動あるを免かれざるべし

△歳入 は經常部五億五拾餘萬圓臨時部五千三百餘萬圓合計五億五千四百餘萬圓にして之を前年度豫算に比較すれば

經常部に於て五百餘萬圓を増加する其の主なる種目金額左の如し

租	稅	減	百餘萬圓
印紙收入	二百餘萬圓		
官業及官有財産收入等増	四百餘萬圓		

臨時部に於て三百餘萬圓を増加し（前年度豫算中前年度總入金二千三百萬圓は之を控除して比較す）

### 合計八百餘萬圓を増加す

△歳出 は經常部四億九百五十餘萬圓臨時一億六千五百五十餘萬圓合計五億七千七百萬圓にして之を前年度豫算に比較すれば

經常部に於て五十餘萬圓を減し臨時部に於て二百七十餘萬圓を増加し歳入歳出差引歳入不足千六百餘萬圓は前年度剩餘金を以て之に充當するものとす

### 郵便貯金激増

從來我國に於ける郵便貯金は左表の如く常に銀行貯金に一步を輸するの狀態にありしが昨四十三年末に至り形勢一變全國貯蓄銀行の預金總額一億四千七百四十四萬四千七百九圓に對し郵便貯金一億五千九百八十四萬六千五百七十四圓を算し差引一千二百八十餘萬圓を超過せり而して最近郵便貯金の増進一層顯著にして去十月末已に一億八千三百萬圓の巨額に達し銀行貯金増進力の及ぶ所に非ず從て今後銀行貯金の増加歩合異常の發展を見ざる限り郵便貯金は永遠に銀行貯金を凌駕して變らざるべしと

### 諸稅滯納取締

從來諸稅滯納者に對する制裁寬に過ぎ爲めに年々其數を増加する傾向あり徵稅上頗る困難なるを以て今回國稅滯納者に對しては該納稅期より差押處分を受けたる期間迄百圓に付日歩參錢宛を徵收することとし八日勅令を以て公布したり尙近く府縣稅町村稅に付ても之に準據する事とすべしといふ

年次	郵便貯金	銀行貯金
三八年	五、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇
三九年	七、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇
四〇年	九、〇〇〇、〇〇〇	一二、〇〇〇、〇〇〇
四一年	一一、〇〇〇、〇〇〇	一四、〇〇〇、〇〇〇
四二年	一三、〇〇〇、〇〇〇	一六、〇〇〇、〇〇〇
四三年	一五、〇〇〇、〇〇〇	一八、〇〇〇、〇〇〇

聯合會議事

昨年十二月東京に於て開會せられたる第十八回商業會議所聯合會の經過左の如し

議案

- 第一號 東北與羽信越中央北海道各線ニ於ケル運賃低減方要望ノ件
第二號 本年朝鮮京城ニ開催シタル全國商業會議所聯合會ノ決議ニ係ル各案ノ實行ヲ促スノ件
第三號 朝鮮ニ於ケル商業會議所法ヲ發布シ商業會議所ヲ以テ商業ニ關スル公共機關トシテ相當ノ權能ヲ附與セラレンコトヲ請願ノ件
第四號 朝鮮ニ於ケル產業組合及同業組合ニ關スル法規發布ノ件ニ付請願
第五號 平原鐵道速成請願ノ件
第六號 朝鮮東海岸諸港ト日本海沿岸諸港トノ間ニ循環航路開始ニ關シ其筋へ建議スルコト
第七號 織物丈量統一ノ件
第八號 賣藥規則中改正ヲ要望スルノ件
第九號 鐵道大貨物斤量切上ニ關スル件
第十號 營業稅査定ニ對シテ調査委員制度ヲ設ケラレタキコト
第十一號 關門海峽鐵道聯絡工事速成ニ關シ其筋ニ建議ノ件
第十二號 產業組合ノ發達ニ伴ヒ商人ノ被レル打撃ニ對スル救濟方法要望ノ件
第十三號 四國貫通鐵道速成ノ件
第十四號 曩キニ本會ノ決議ニ係ル印紙稅法中改正ノ件ニ付政府ニ對シテ速カニ其實行ヲ促ス事

- 第十五號 石油消費稅ヲ速ニ廢止セラレンコトヲ其筋へ要請スルノ件
第十六號 製帽ノ輸出戻稅ニ關スル勅令改正ノ件
第十七號 羽越鐵道速成ニ關シ政府へ建議ノ件
第十八號 東北各線鐵道貨物運賃率ノ低減ヲ要望ノ件

第一日 (十二月五日)

- 一 開會地商業會議所委員中野武營君本會開會ニ關スル諸般ノ經過ヲ報告ス
二 本聯合會ノ會長ニ東京商業會議所委員中野武營君ヲ同副會長ニ同商業會議所委員根津嘉一郎君ヲ選定ス
三 本會ノ會計委員ニ會長指名ヲ以テ大阪、京都、橫濱、仙臺、長崎、五商業會議所ヲ選定ス
四 大藏大臣及農商務大臣ノ財政、經濟ニ關スル說明ヲ需ムル爲メ會長ニ兩大臣ニ對スル交渉ヲ委任ス
五 各議案調査ノ爲メ會長指名ヲ以テ左ノ通り委員ヲ選定ス

第一委員 (第一號、第九號、第十一號、第十三號)

- 水月、長崎、長崎、高松、神戸、名古屋、宇都宮、仙臺、廣島、博多、高岡、川越、濱松、津、徳島、山形、長野、新潟

第二委員 (第七號、第八號、第十號、第十二號、第十四號、第十五號)

- 富山、福井、岡山、大阪、四日市、甲府、京都、靜岡、和歌山、八王子、仙臺、松本、尾道、豊橋、高崎、栃木、金澤

第三委員 (第二號、第三號、第四號、第六號)

- 釜山、京城、東京、神戸、長崎、大阪、京都、金澤、橫濱

第一日 (十二月六日)
一 中野會長議案第十六號、第十七號、第十八號ノ新ニ提出セラレタルコトヲ報告シ議案ノ性質ニヨ

- リ曩ニ選定シタル各部委員ニ廻附スルコト決ス
一 協議會 中野會長本會ニ於テ各議案ヲ調査議定スルニ當リ本會ノ大務方針決定ノ必要アルニ由リ左ノ問題ヲ本會ニ提出スルノ可否ヲ諮議ス
一 財政方針ニ關スル問題
一 清國動亂ニ關スル問題
一 商業會議所法ニ關スル問題
協議會ニ於テ以上三問題ヲ本聯合會ノ議題トスルコトヲ決議シ且ツ本會議開會ノ手續キテ省署シ會長指名ヲ以テ直チニ右調査委員ヲ左ノ通り選定シタリ

財政方針ニ關スル委員

- 名古屋、長崎、神戸、高崎、金澤、長野、大阪、京都、福井、東京、靜岡、高松、廣島、富山、橫濱、長崎、宇都宮

清國動亂ニ關スル委員

- 東京、大阪、京都、橫濱、神戸、名古屋、長崎、廣島、仙臺、京都、新潟

會議所法ニ關スル委員

- 高岡、甲府、川越、四日市、尾道、豊橋、松本、京都、濱松、大阪、津、東京、水月、八王子、山形、徳島、廣島、博多、和歌山、栃木、岡山

第三日 (十二月七日)

本會休會左ノ通り委員會ヲ開キタリ

- 一 第三委員會
一 商業會議所法ニ關スル委員會
一 財政方針ニ關スル委員會

第四日 (十二月八日)

本會議休會左ノ通り委員會ヲ開キタリ

- 一 第一委員會
清國動亂ニ關スル委員會
商業會議所法ニ關スル委員會 (大久保商務局長岡崎監理課長出席)

第五日 (十二月九日)

- 一 中野會長大藏大臣農商務大臣ノ出席ニ關シ交渉シタル經過ヲ報告ス
一 京都商業會議所委員濱岡光善君來會員ヲ代表シ曩ニ朝鮮京城ニ開會シタル内地朝鮮聯合會ニ於ケル中野會長ノ勞ヲ謝シ中野會長答辭ヲ述フ
一 會計委員長濱岡光善君本會ノ會計報告ヲ爲シ直ニ可決
一 財政方針ニ關スル委員長代理中野武營君委員會ニ於テ起草シタル決議案ノ趣旨ヲ口頭ヲ以テ報告シ本會ハ右報告ヲ可決シ案文ヲ會長ニ一任ス
一 清國動亂ニ關スル委員長中野武營君委員會ニ於テ此際清國ノ實業家ニ慰問狀ヲ發シ時機ニヨリテ慰問員ヲ派出スヘキコトニ決シタル旨ヲ報告シ本會ハ該報告ヲ可決ス
一 第二委員長濱岡光善君第二委員會ハ附託議案中稅法ニ關スルモノハ凡テ之ヲ延期スルコト議案第七號ハ更ニ調査ノ上次回ニ提出スルコト議案第八號ハ委員會ニ於テ議案ノ主意ヲ是認シ會長ヨリ此旨ヲ當局ニ注意スヘキコト議案第十二號ハ提出者ヨリ撤回セラレタルコトヲ報告シ本會ハ該報告ヲ可決ス
一 第一委員長早速整頓第一委員會ハ議案第一號第九號第二項、第十八號ニ對シ建議案ヲ提出スルコト議案第九號第一項及第三項ニ對シテハ建議案ヲ提出ノ際當局者ニ陳情スルコト議案第十號ハ宿題トスルコト議案第十三號及第十七號ハ提出者ヨリ撤回セラレタルコトヲ報告シ本會ハ該報告ヲ可決ス
一 第三委員長代理高山圭三君第三委員會ハ議案第二號ニ對シ實行委員ヲ選定シ實行ノ方法ヲ講セシムルコト議案第三號第四號ハ宿題トスルコト議案第六號ハ議案第二號中ニ包含セラル、モノナル故前記實行委員ニ委任スルコトニ決シタル

旨ヲ報告シ本會ハ該報告ヲ可決ス

- 一 中野會長來年五月頃稅法整理其他ノ件ニ關シ各會議所ノ調査ニ基キ聯合會意見ヲ協議決定スル爲メ大阪ニ於テ臨時聯合會ヲ開會スルコト若シ大阪商業會議所ニ於テ支障アルトキハ東京ニ於テ開會スルノ可否ヲ諮リ本會ハ右提議ヲ可決ス
一 本會ハ第三委員會ノ報告ニ係ル實行委員ニ會長指名ヲ以テ左ノ通り選定ス
朝鮮聯合會、東京、大阪、神戸
一 中野會長閉會ノ辭ヲ述ヘ京都商業會議所委員濱岡光善君委員會ヲ代表シ會長副會長并開會地會議所事務員ノ勞ヲ謝ス

備考 商業會議所法ニ關スル委員ノ報告本會議ニ上ラザルハ既ニ當局者ニ於テ之レガ改正ノ必要ヲ認メ居ルヲ以テ之ヲ協議會限リノ問題トシタル故ナリ

鐵道運賃低減ニ關する建議

東北の鐵道運賃は關西方面に比し非常に高率にして爲めに産業の發展を阻止する勢なからず依て宇都宮商業會議所に於ては之を關東商業會議所聯合會の議題に提出し全會は之を可決其筋に建議し尙ほ全國商業會議所聯合會に提案したるが聯合會は之を容れ左の通り建議したり

鐵道運賃を低減し以て運輸交通の利便を増加し産業の發達を促進するの急なるは衆説を要せざるなり然るに我國現今鐵道運賃の高率にして而かも各線其權衡を失し爲めに運輸交通の不便を感じ地方産業の發達を阻止衰退せしむるの甚しきものあるは吾人の頗る遺憾に堪へざる所なり今試に各線運賃率を比較するに別表の如く東北中央、信越、北陸其他各線は東海道、九州、山陽各線に比し一割五分乃至三割餘の高率にあり此の如く一方に低く一方に高きは獨り公平を失

するのみならず高率なる地方の蒙むる産業上の不利決して鮮少にあらざるなり或は謂はん鐵道建設費並に營業費等に多額を要するものあるを以て遽かに運賃の低減を行ふへからず若夫れ貨率算出上の基礎を單に建設費若しくは營業費の多寡に依りて決せん乎毫も民設鐵道と撰ぶ所なく國有鐵道の利益果して何くにあるやを疑はしむ思ふに運賃率を整理し漸次低廉ならしめ以て産業の開發に資せんとするは國有鐵道の本義なり況や運賃の低廉は貨物の運輸を増加し貨物運輸の増加は即ち運賃收入の増加を來す所以なるに於ておや須く高低錯せる各線の運賃を低減し相互權衡を得せしめ以て産業の發達を期圖すへし此の如きは國有鐵道の本旨に適ひ産業の發達を促進する所以なりと信す庶幾くは如上の趣旨を諒せられ速かに運賃低減を實行せられんことを

右全國商業會議所聯合會の決議に依り建議候也

Table with 2 columns: 哩數 (Distance) and 運賃 (Fare). Rows list various railway lines and their corresponding fares for different distances.



聯合會と財政問題

第十八回商業會議所聯合會に於て財政問題に關し...

歳末と市況

未曾有の豊作を唱へられ加ふるに米價頗る高値なれば...

屋外廣告の取締

廣告取締法公布せられ次で各府縣の施行規則施行せらるるに至りたるが...

役員會

明治四十四年十一月六日午後四時三十分開會全六時十分閉會...

出席提出議案は之に選定を一任すること...

臨時總會

明治四十四年十一月八日午後五時開會全六時閉會...

一、民事訴訟法、競賣法並附屬法令改正に關し...

一、不正競争法案に關する件...

一、農商務大臣及栃木縣知事より諮問を...

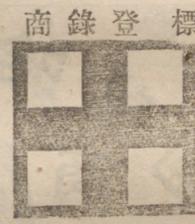
一、米國のシカゴでは、人口百萬人以上...

▲日本に於て明治十九年後最も結婚の多い年は、日清戦争後の二十九年で、五十萬一千七百餘組の結婚が行はれてゐる。

はなしの種

琉球風 琉球の那覇では女が働らいて男が遊ぶといふ習慣になつて。此の地には...

即ち明治三十七年から四十一年迄五年間平均人口千につき結婚九、三といふことになつてゐる。



標 登 録 商 酒 銘 明保野

滋保野は學理と實驗とに依て醸造したる酒質醇良明養豊富香味絶佳なる無比の一品にして...

謹賀新年 活版印刷 石版印刷 寫真版印刷

Large advertisement for 'Sanwa' (三軒) featuring '輕便洋食' (Light Western Food) and '生乳' (Raw Milk). Includes address and phone number.

# 謹賀新年

菊の友は原料を  
精撰し學理を應  
用し最も斬新な  
醸造方法にし



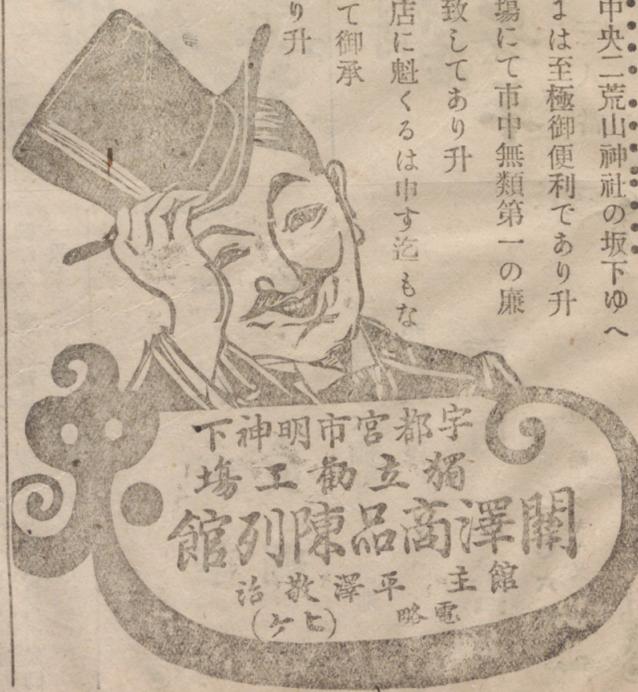
て芳香佳味且つ  
廉價なり江湖の  
諸君奮て御試用  
あらん事を乞ふ

千秋  
奪色多

## 謹賀新年

### 關澤商店陳列館

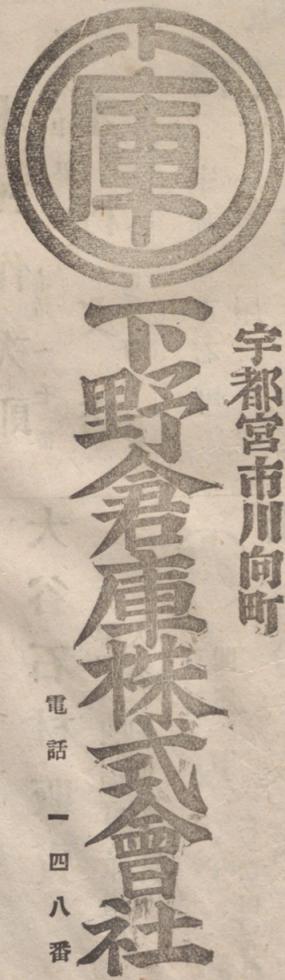
- ▲宇都宮市の中央二荒山神社の坂下ゆへ土産物御求まは至極御便利であり升
- ▲獨立の勤工場にて市中無類第一の廉價正札附に致してあり升
- ▲流行品は他店に魁くるは申す迄もな
- ▲花客様にて御承知の筈であり升
- ▲品が善くて直が安く有る品はゆる品は取揃てあり



宇都宮市立勸工場  
關澤商店陳列館  
主館 平澤 略電 (ケ七)

## 謹賀新年

宇都宮市川向町



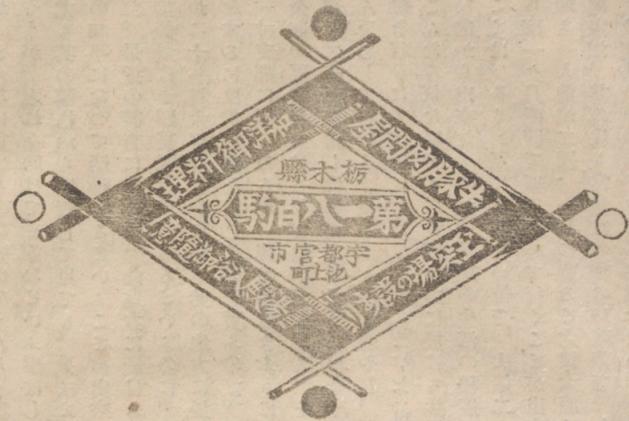
# 下野倉庫株式会社

電話 一四八番

委託販賣、貨物貸附金

貨物、保管、荷爲替取組

牛肉の原料は有名なる  
戸米澤豚肉は海外より  
種のを選み品質精撰  
格低廉衛生經濟富強兵  
に缺可ら日常食品の親玉



番七百六 番二百二 話電

和洋御料理及天麩羅原  
は元濱方と特約日々新  
のものを選み直輸入風味  
と衛生を重んじ御手輕  
迅速は最も第一の特色

大坂磯曹株式会社製品特約販賣  
關東酸曹株式会社製品特約販賣  
各種取揃へ有之候ニ付御用命奉願上候  
見本御一報次第早速御送り可申上候

内外 各種 肥料 天  
宇都宮市上河原町

手塚 豊吉  
電話二二三一  
略(テッカ)又(テ)

本 店 宇都宮市宿郷町三番地  
電話二〇七番

支店 東京府北千住中組五五番地  
電話下谷二八三番

商標 登録

# 下野製紙株式会社

定期預金 日歩 一九五  
定額預金 日歩 一五五  
別當預金 日歩 一五五

宇都宮市大工町五番地

諸貸附割引爲替代金取立確實ヲ旨トシ精々御便利ニ取扱申候

電話三五番 電略(ホウ)

# 寶積寺銀行宇都宮支店

營 業 種 目

藥 品 賣 藥 醫 療 器 械  
理 化 學 器 械  
寫 真 器 械 附 屬 一 式  
コ ン デ ン ス ミ ル ク 特 約 店

宇 都 宮 市 馬 場 町  
木 村 作 次 郎  
電 話 一 七 七 番  
日 光 中 鉢 石 町  
木 村 支 店  
電 話 百 十 一 番

海 陸 產 肥 料 各 種  
入 山 石 炭 各 驛 手 販 賣  
好 間 石 炭 各 驛 一 手 販 賣  
無 煙 炭 各 種 大 販 賣

宇 都 宮 市 石 町  
針 屋 村 上 濱 吉  
電 話 三 三 番

和 紙 卸 商 上 油 屋 紙 店  
宇 都 宮 市 千 手 町  
相 場 直 三 郎  
電 話 四 〇 番

和紙ハ土佐、駿河、石見、美作等産紙ノハ悉ク全地直輸入ニ付中地タル東京若クハ大坂ノ手ヲカラ  
ス故ニ兩都ノ相場ニ相勉メ可申候。洋紙モ舶來紙ヲ始メ内地各製造會社ノ撰定ニ係ルモノ一切取揃有  
之候ニ付和洋共出精販賣可仕候間御用命奉願上候

諸 建 築 木 材 供 給 受 負

諸 木 材 廉 價 販 賣

諸 建 築 工 事 請 負 業

業 務 擴 張 ノ 爲 メ 從 來 ノ 建 具 類 賣 場 狹 隘 ナ 感 シ 肴 町 通 ニ 移 轉 仕 候 條  
陸 續 御 用 命 奉 願 候  
電 話 一 三 八 番

宇 都 宮 市 日 野 町  
半 都 賀 屋 本 材 店  
篠 崎 安 平

大 谷 石 材 販 賣

宇 都 宮 市 川 向 町 停 車 場 前  
大 谷 石 商 會

石 材 問 屋 坂 本 仲  
( 電 話 四 〇 八 番 )

光 力 電 燈 よ り 光 強 し

アセチリン瓦斯 石 油 ニ 優  
ル 事 百 倍

并 光 料 カ ー バ イ ト 危 險 ノ 虞

其 他 機 具 一 式 毫 モ ナ シ

御 洋 文 ニ 應 ジ 取 付 其 他 点 燈 迄 一 切 請 負 可 申 候 御  
一 報 次 第 店 員 出 張 萬 事 御 協 議 可 申 候

肥 料 麻 苧

藍 眞 繩

宇 都 宮 市 本 郷 町 廿 八 番 地  
商 號 久 喜 屋

福 田 恒 吉

電 話 三 〇 六 番  
電 略 ク キ ヤ 又 ハ キ